

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 V	自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興
施策 3	生涯学習の成果の活用
目標項目	L-18 生涯学習の成果を自分以外のために生かしたいと思う市民の割合

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
54.4%	アンケート未実施 (令和6年度実績値: 59.1%)	60.0%

令和7年度までの取組
生涯学習の成果を発表することを目的とした市民文化祭の開催に加え、市民の有する様々な知識や技能を生かした生涯学習ボランティア講師制度について、制度の周知及び活用の促進を図った。



目標値に対する達成状況(総括)
令和7年度はアンケート調査を実施していないものの、6年度の時点では目標値に近い水準まで達しており、これまでの取り組みについては一定の効果が認められると考えられる。 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験等を、どのように生かしていきたいかを尋ねた結果では、「家庭で生かす」が38.8%と一番高い割合となり、「地域活動(自治会活動、公民館活動、ボランティア活動等)で生かす」は27.5%、「誰かに伝える」は19.4%であったため、学んだ成果を地域社会に生かせる仕組みづくりを推進していく必要がある。



今後の取組予定
生涯学習活動団体や市民活動団体、地区センター等と連携・協働し、生涯学習で学んだ成果をまちづくり等で地域社会に生かす取り組みを推進する。 また、生涯学習ボランティア講師制度について、市民の有する様々な知識や技能を生かせるよう一層の周知と活用を図る。

所管課	社会教育課
-----	-------

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 V	自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興
施策 3	生涯学習の成果の活用
目標項目	L-19 学校支援ボランティアの派遣人数

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
319人	210人	335人

令和7年度までの取組
地域の教育力を生かして、小中学校へ学習支援などのボランティアを派遣する学校支援ボランティアセンターの取り組みを実施した。



目標値に対する達成状況（総括）
コロナ禍により派遣人数が大きく減少し、いまだ従来の水準まで戻っていないため、目標値の達成には至らなかったが、毎年度少しずつ派遣人数は増加している。 少子化により児童・生徒数も減少していくなか、今後も学校との連携を強め、ボランティアによる学校支援の充実を図っていく必要がある。



今後の取組予定
学校支援ボランティアセンターへの登録を促進するとともに、学校との連携を強化し、各校のニーズに応じた学校支援ボランティアの活動機会の充実を図る。

所管課	社会教育課
-----	-------

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 V	自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興
施策 3	生涯学習の成果の活用
目標項目	L-20 地域学校協働活動への参加者数

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
73,632人	61,623人	75,000人

令和7年度までの取組

全ての小・中学校に学校応援団コーディネーターを配置し、多くの保護者や地域住民等がボランティアとして学習支援、部活動指導、環境整備、登下校の安全指導、学校との合同行事等、多岐に渡って活動し、学校支援を行った。



目標値に対する達成状況（総括）

目標値の達成には至らなかったものの、保護者や地域住民等の協力により参加者数は昨年度を上回り、活動の規模は着実に拡大してきている。



今後の取組予定

学校支援に関わる団体・個人が行う活動を地域学校協働活動（SCSC）として位置付け、学校運営協議会と一体的に推進するために学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置を進め、推進員を中心とした活動が行える体制を整備する。
また、SCSCへの参加を含む学校や地域での活動につなげる取り組みを促進するとともに、多様な人材が活躍できる活動の場の充実に取り組む。

所管課

社会教育課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 VI	元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興
施策 1	市民のスポーツ活動の促進
目標項目	L-21 週1回以上スポーツを実施する市民の割合

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
32.4%	アンケート未実施	50.0%

令和7年度までの取組

誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ教室・行事の充実を図り、市民が継続してスポーツに親しむことができるよう、スポーツの実施率向上に向けて取り組んできた。



目標値に対する達成状況（総括）

・令和7年度はアンケート調査を実施しておらず、達成状況の把握は難しいが、スポーツ協会との共催事業である市民ゴルフ大会やクロスカントリー大会、スポーツ推進委員連絡協議会との共催事業であるトスペースボール大会やラケットテニス親睦大会等を、コロナ禍以前の大会規模として開催し、スポーツに親しむ機会を提供したことにより、スポーツに対する関心が増していると推測される。

・令和6年度に「第4次狭山市教育振興基本計画」策定の基礎資料としてアンケート調査を実施した。調査結果から、「週に1～2日程度」スポーツをする割合が20.1%、「週に3日以上」が13.8%であり、週1回以上スポーツを実施する市民の割合は33.9%で目標値には至らなかった。それに対し、「まったくしなかった」と回答した市民の割合は30.9%であった。



今後の取組予定

今後も、各種スポーツ教室・行事の充実や継続的にスポーツを実施できる環境の整備を図るとともに、日常生活の中で手軽に行えるスポーツの紹介などSNS等を活用した情報を発信し、スポーツ実施率の一層の向上を図っていく。

また、「まったくしなかった」の層にも興味を持ってもらえるような教室や、参加しやすい環境の整備について検討を進め、導入を図っていく。

所管課

スポーツ振興課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 VI	元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興
施策 1	市民のスポーツ活動の促進
目標項目	L-22 スポーツ教室・行事への参加者数

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
19,874人	15,615人	20,700人

令和7年度までの取組

各種スポーツ教室・行事については、各教室等の終了時のアンケートなどを通じて、市民のニーズを把握し、気軽にできるニュースポーツの普及や内容の充実を図ってきた。



目標値に対する達成状況（総括）

令和2年度末に達成。スポーツ教室は、19種目20教室を開催し、延べ767人の参加があり、行事については3事業を開催し、158人の参加を得た。共催事業では、市民ゴルフ大会197人、クロスカントリー大会参加者712人、トスバースポール大会174人、ラケットテニス親睦大会94人の参加があった。

また、市民総合体育館及び地域スポーツ施設を管理運営する指定管理者による自主事業に延べ13,671人の参加があった。

目標値には達していないが、今後も教室参加者のアンケートによりスポーツ種目や開催時期、時間を市民のニーズを把握し、達成に向け検討していく。ニュースポーツの普及については、公民館と連携したボッチャ講習会等を継続して実施していく。



今後の取組予定

ライフスタイルや市民のニーズに応えられる教室内容の充実を図り、誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室の普及や行事の実施に取り組んでいく。

所管課

スポーツ振興課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 VI	元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興
施策 2	競技スポーツの振興
目標項目	L-23 アスリートとのスポーツイベントや講演会等の参加者数

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
397人	1,088人	800人

令和7年度までの取組
プロスポーツ団体との連携協定事業や、市内外との包括的連携協定による教室開催など、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及に取り組んできた。



目標値に対する達成状況（総括）
プロスポーツ団体との連携協定事業として、埼玉西武ライオンズによる「レオ・ライナと楽しく遊ぼう」、「ベースボールチャレンジ」、「ティーチングセミナー」、ちふれASエルフェン埼玉による「サッカー教室」、狭山セコムラガッツによる「狭山セコムラガッツ応援バスツアー」、さいたまブロンコスによる「バスケットボールクリニック」を開催し、1,088人の参加があった。



今後の取組予定
今後も連携協定事業やスポーツイベント等を通じて競技スポーツに接する機会を提供していく。

所管課	スポーツ振興課
-----	---------

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた成果目標の点検評価表

基本目標 VI	元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興
施策 3	スポーツ施設の充実
目標項目	L-24 公共スポーツ施設の利用者数

実績値 (令和元年度)	令和7年度末数値	目標値 (令和7年度)
879,733人	1,019,398人	880,000人

令和7年度までの取組

スポーツ協会をはじめとするスポーツ・レクリエーション団体の活動、さらには、各施設での自主事業の実施を通じて、スポーツ施設の利用の促進を図ってきた。



目標値に対する達成状況（総括）

公共スポーツ施設利用者数（屋外運動施設、市民総合体育館、地域スポーツ施設、小・中学校開放体育館、入曽運動広場）は、1,019,398人で、昨年度に比べ35,328人増加した。

【参考】市民総合体育館：278,893人 地域スポーツ施設：64,506人
 狭山台体育館プール：5,154人 小・中学校開放体育館：114,408人
 武道館：25,767人 入曽運動広場：32,567人
 屋外施設（みどり公園課）有料：247,662人 無料：250,441人



今後の取組予定

各種スポーツ教室・行事及びスポーツ施設に関する情報提供の充実と、利用者が継続して利用したいと思う魅力ある施設への環境整備の促進を図っていく。

所管課

スポーツ振興課